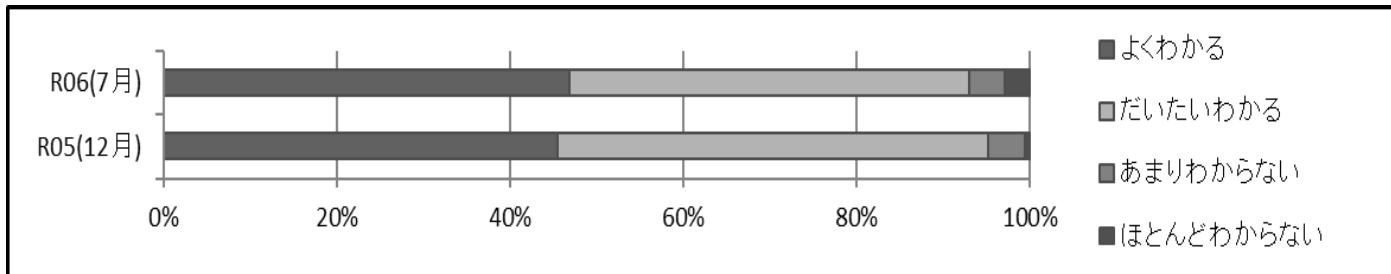


学校だより～特別号～

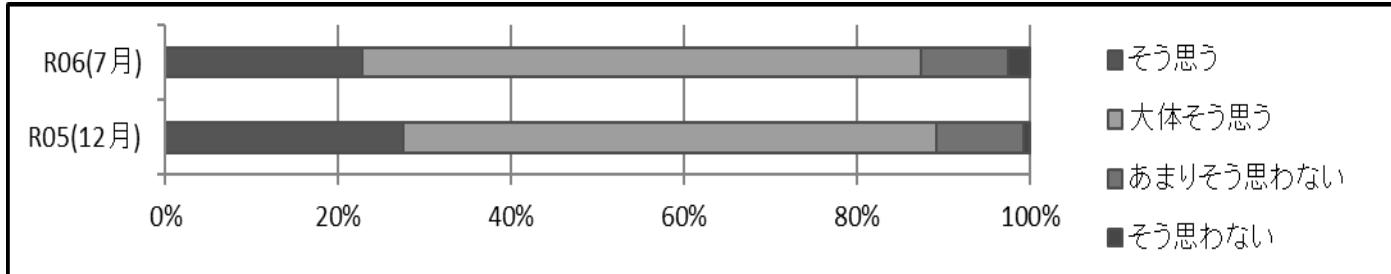
令和6年9月25日
京都市立池田東小学校
校長 上原 菜穂子

I. 授業の内容について

<児童>授業の内容はわかりますか。



<保護者>お子様は学習内容を理解している。

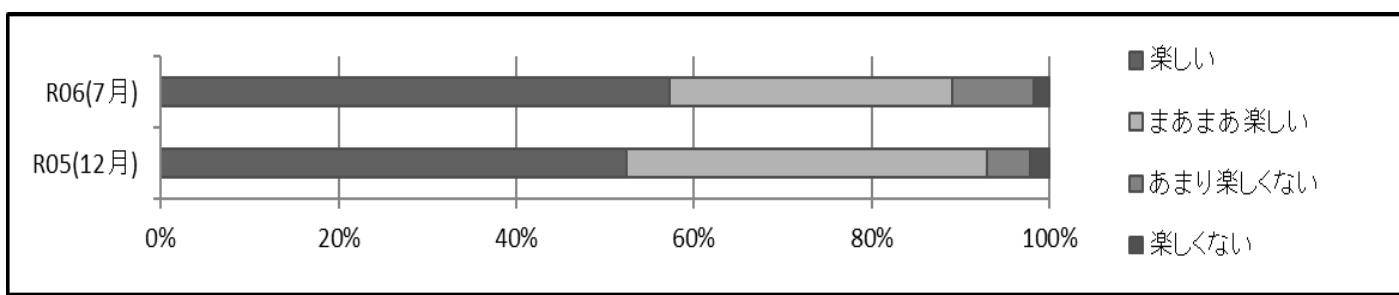


「よくわかる」「だいたいわかる」と回答している児童は93%と、概ね学習内容を理解できている様子が伺えます。しかし、7%ほどの児童が、「あまりわからない」「ほとんどわからない」と回答していますので、個々の児童の習熟度を丁寧に見取りながら、個に応じた指導を工夫していきます。

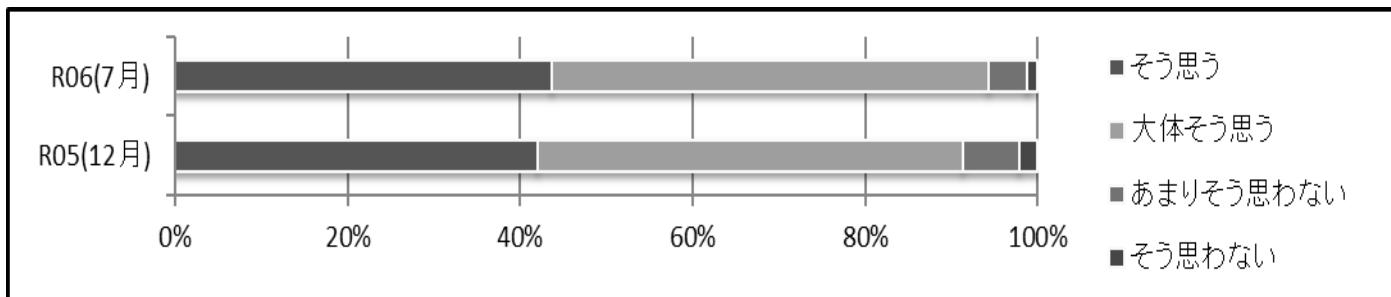
また、保護者アンケートでは、87%の保護者の方から「そう思う」「大体そう思う」という回答をいただきました。今後さらにご家庭とも連携しながら、個々の学びを深められるよう取組を進めてまいります。

2. 学校生活について

<児童>学校生活は楽しいですか。



<保護者>お子様は楽しく学校に通っている。

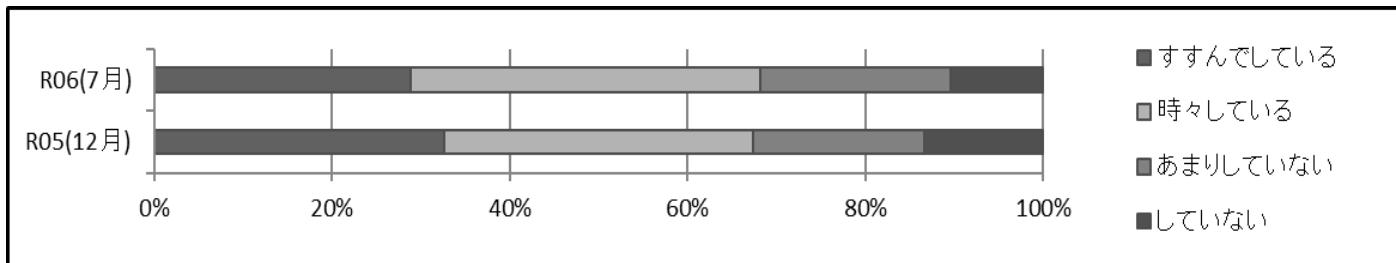


学校生活について、「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答している児童が89%、保護者アンケートの「お子様は楽しく学校に通っている」かの質問に「そう思う」「大体そう思う」と回答された保護者の方が94%という結果が出ています。

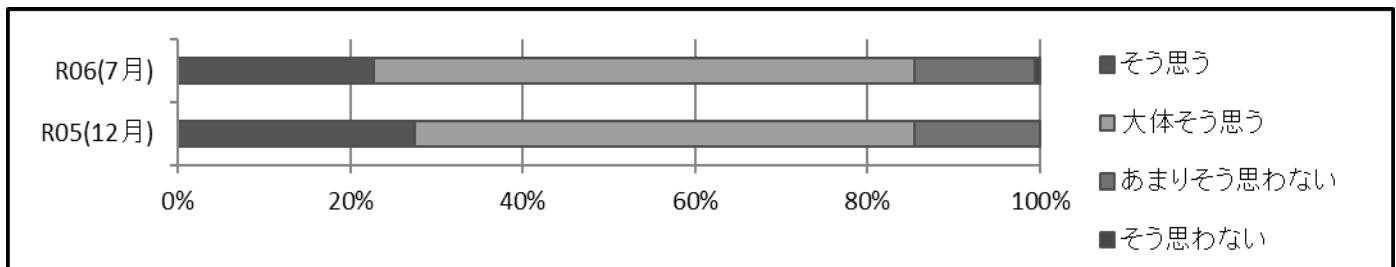
多くの児童が学校を楽しいと思っていること、保護者の方にもそう感じていただいている結果となりました。一方で、1割ほどの児童が「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答しています。子どもの様子を細かに見取ったり、いじめアンケートなどを参考にしたりしながら、一人一人の子どもを豊かに育んでいきます。

3. 授業中の取組や態度について

<児童>授業中、発表はしていますか。



<保護者>お子様には思いや考えを伝える力が身についている。

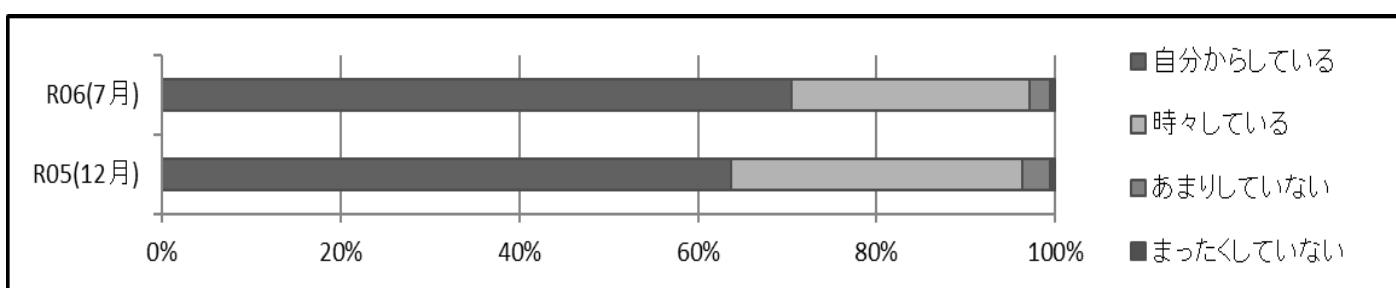


授業中の発表について、「すすんでしている」「時々している」が合わせて68%、「あまりしていない」「していない」が合わせて32%でした。また、保護者アンケートでは、思いや考えを伝える力が身についているかについて、「そう思う」「大体そう思う」が合わせて86%、「あまりそう思わない」「そう思わない」が合わせて14%でした。

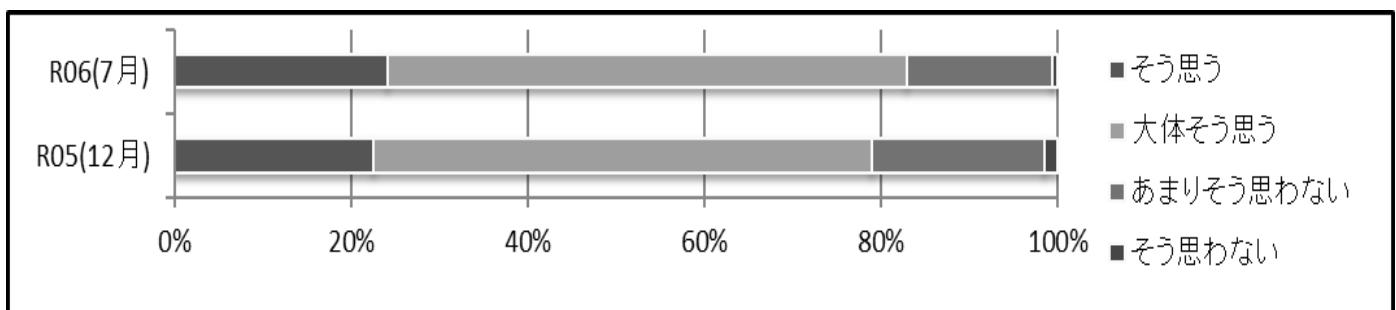
アンケートの結果から、多くの児童が相手の話を聞き、集中して学習に取り組めている反面、主体的に自分の思いや考えを伝えることができていない児童も見られます。学習の中で、児童が自分の思いや考えを持ち、主体的に活動できるよう、授業の内容も工夫しながら指導を行ってまいります。

4. 挨拶について

<児童>あいさつはしていますか。



<保護者>お子様たちは、進んで挨拶をしている。

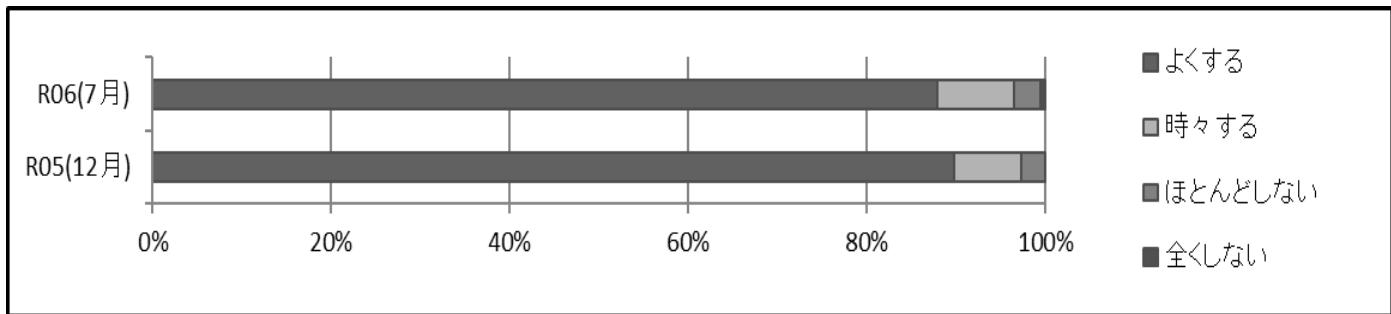


「自分からしている」と回答した児童が71%、「時々している」と合わせると97%に上るなど、ほとんどの児童が肯定的に捉えています。一方、保護者アンケートでは「子どもたちは進んで挨拶をしている」の質問について、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答されている方が17%という結果でした。

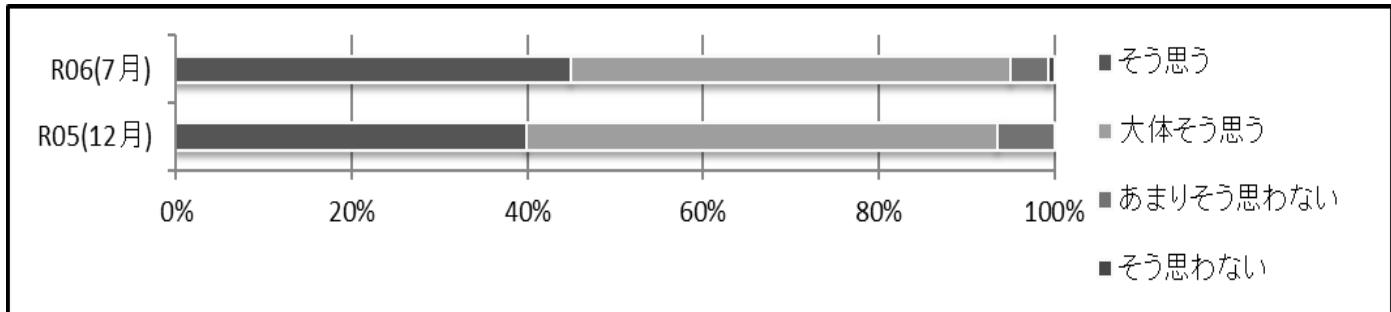
「自分ではしているつもりでも、相手には伝わっていない。」ということが大きな要因になっていると考えられます。学校内だけでなく、地域や家庭においても、相手に伝わる気持ちの良い挨拶（声・表情）を継続して実施できるよう、取り組んでいきます。

5. 人と話すことについて

<児童>友達とは話をしますか。



<保護者>お子様と家でよく話をしている。

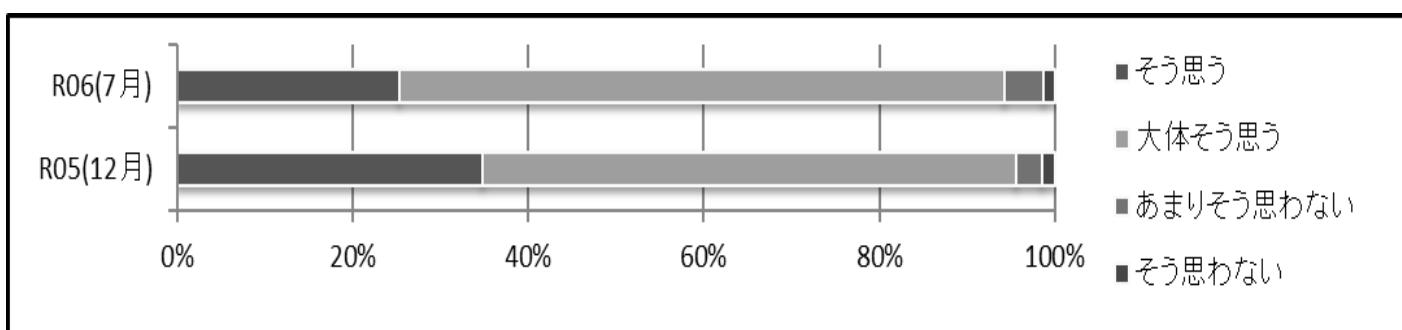


友達と話すことについて「よくする」「時々する」が合わせて97%でした。また、保護者の方へのアンケートで、家でよく話をするかについて「そう思う」「大体そう思う」が合わせて95%でした。

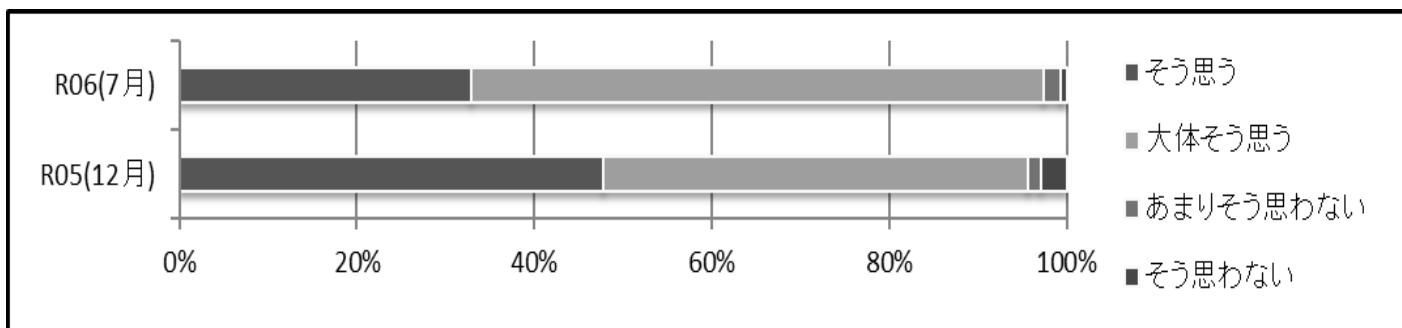
ほとんどの児童が、友達や先生と話をしており、ご家庭でもお子様との会話の時間を持たれていることがわかります。ただ、あまり話さない、もしくは全く話さないという児童も少数ではあります見られました。一人で悩んだり、寂しい思いをしたりしている児童がいないか、しっかりと児童の様子を見守っていきます。

6. 学校の取組について

<保護者>学校からいろいろな情報発信ができている。



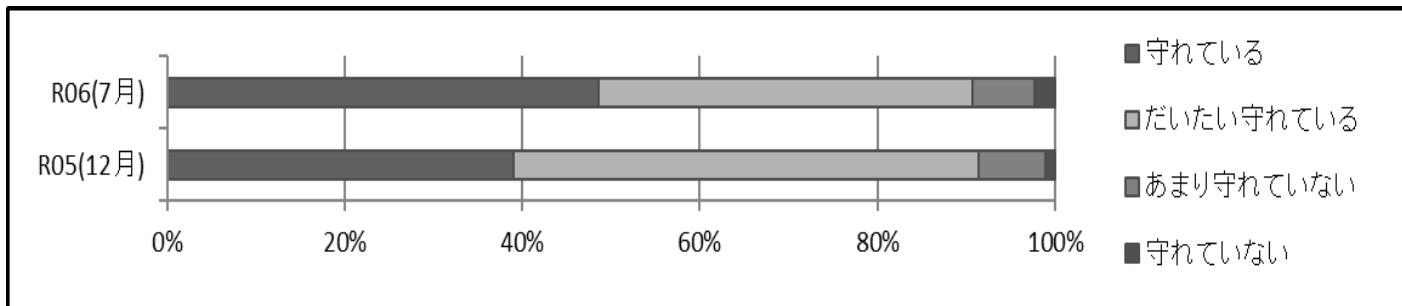
<保護者>教職員の対応に満足している。



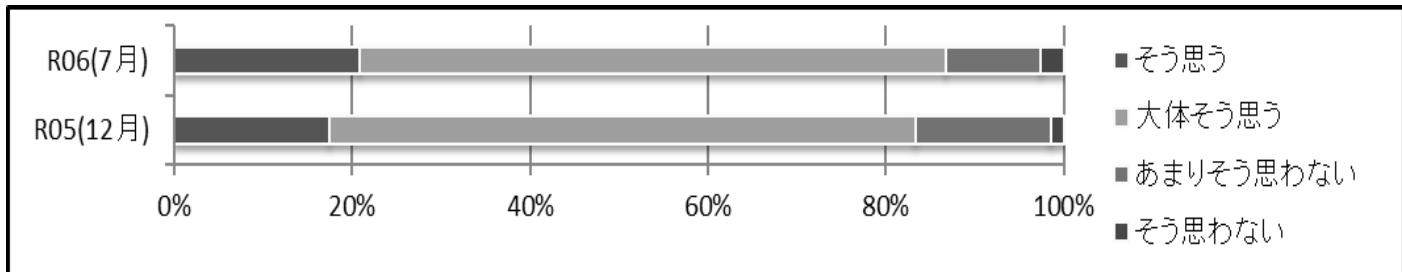
情報の発信ができているかについて、「そう思う」が25%、「大体そう思う」が69%、教職員の対応に満足かどうかについて、「そう思う」が33%、「大体そう思う」が65%という結果でした。今後も、ホームページやすぐーる等で学校や学級の様子を進んで発信することで、さらに開かれた学校づくりを目指していきます。

7. 家や学校でのきまり・ルールについて

<児童>家の約束や学校のきまり・ルールを守っていますか。



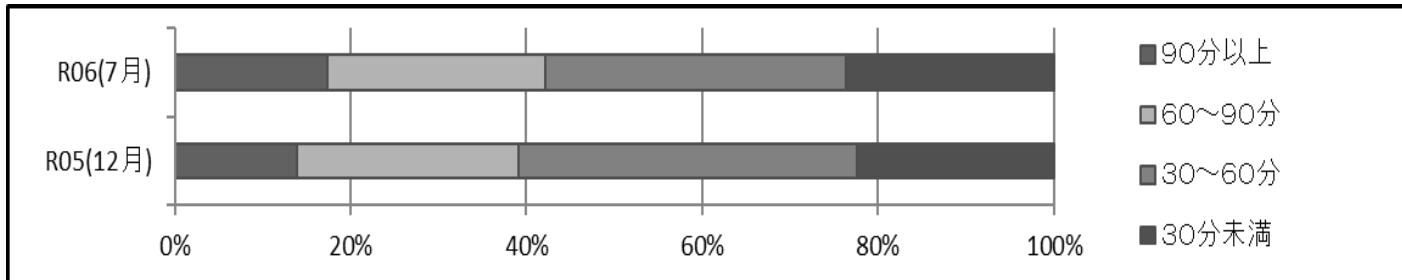
<保護者>お子様は家の約束や学校のきまり・ルールが守れている。



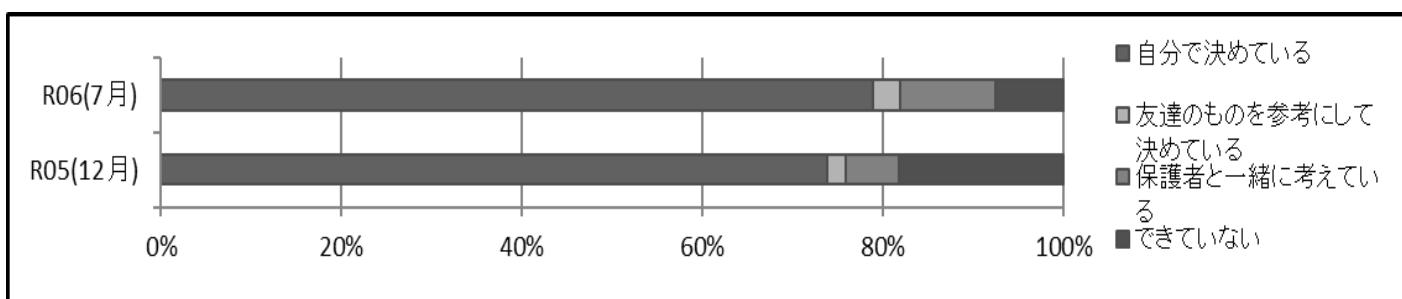
家の約束や学校のきまり・ルールについて「守れている」「だいたい守れている」と感じている児童が91%、また保護者の方にお子様が家の約束や学校のきまり・ルールが守れているかお聞きしたところ、「そう思う」「大体そう思う」と答えられた方が87%でした。多くの児童が家や学校でのきまりや約束・ルールを守っていると認識しており、学校での子どもの様子を見ても、そのように感じます。今後も、学校で指導している内容についてはお伝えしながら、ご家庭と連携して指導にあたってまいります。

8. 家庭での学習について

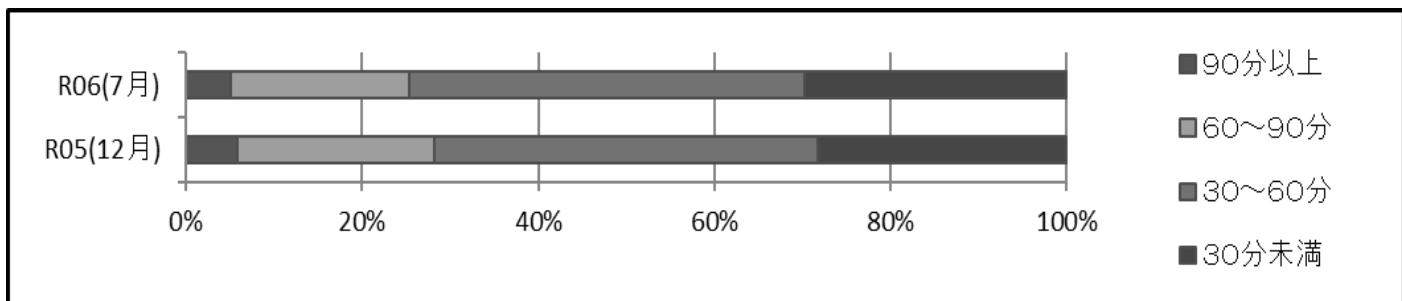
<児童>家の学習時間はどれぐらいですか。(宿題を含む)



<児童>自主学習のテーマは、自分で決めて取り組んでいますか。



<保護者>お子様の家の学習時間はどれぐらいですか。

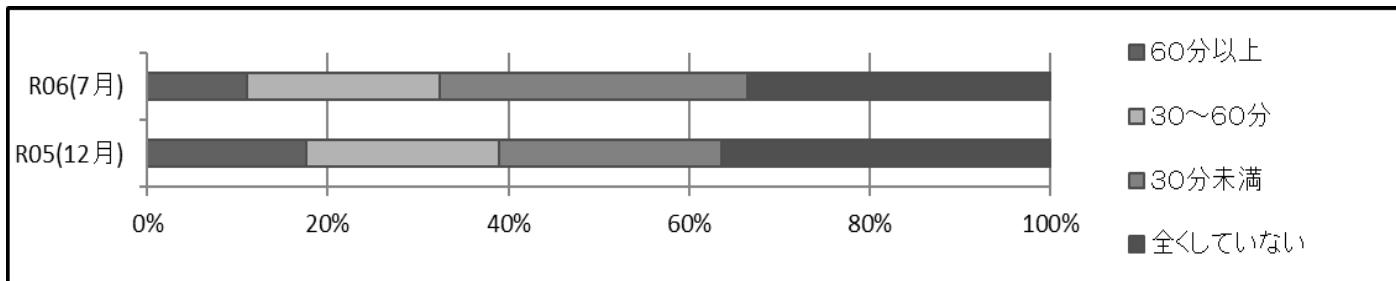


家庭での学習時間ですが、児童アンケートでは「90分以上」が17%、「60~90分」が25%、「30~60分」が34%、「30分以内」が24%という結果でした。しかし、保護者の方はその結果よりも短く感じられているようです。また、「進んでしている」と感じている児童は51%、保護者アンケートでは、「そう思う」「大体そう思う」が合わせて68%でした。

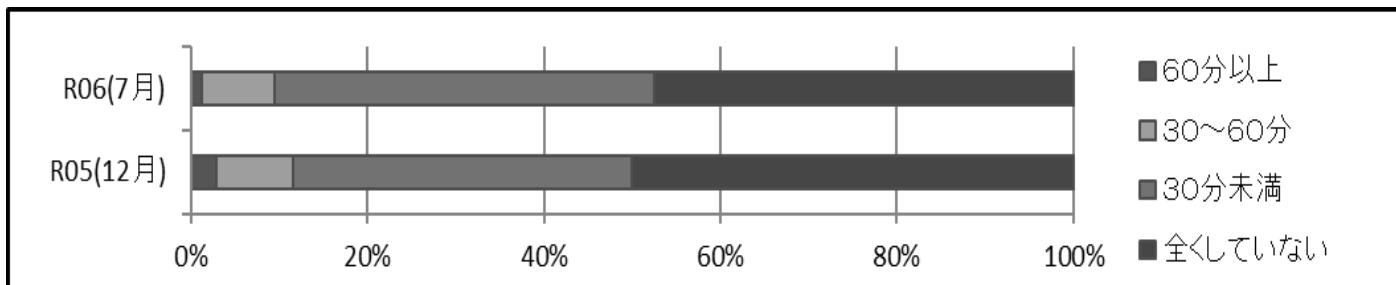
家庭学習については、児童が自主的に学びに向かえるように、学級での指導・声かけを継続していきます。ご家庭でも学習時間を組み込んだ生活スケジュールを設定していただき、学習の習慣化を図っていただければと思います。

9. 家庭での読書について

<児童>家庭で読書をしていますか。



<保護者>お子様は家でどれくらい読書をしていますか。

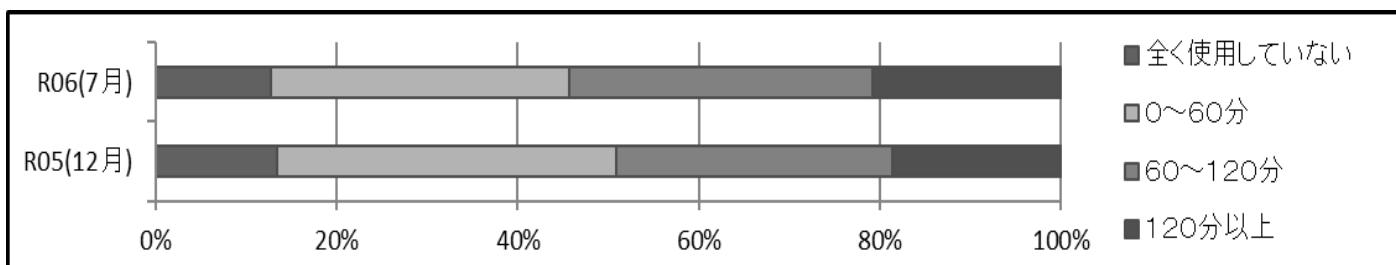


児童アンケートでは、家庭で読書を「90分以上」と回答した児童は11%しかおらず、「30分未満」が34%、「全くしていない」が24%という結果でした。一方、お子様が家庭でどれくらい読書をしているかの質問に対し、「60分以上」と回答した保護者の方はほとんどおらず、99%が「60分以内」、さらには約半数の48%が「全くしていない」という結果でした。

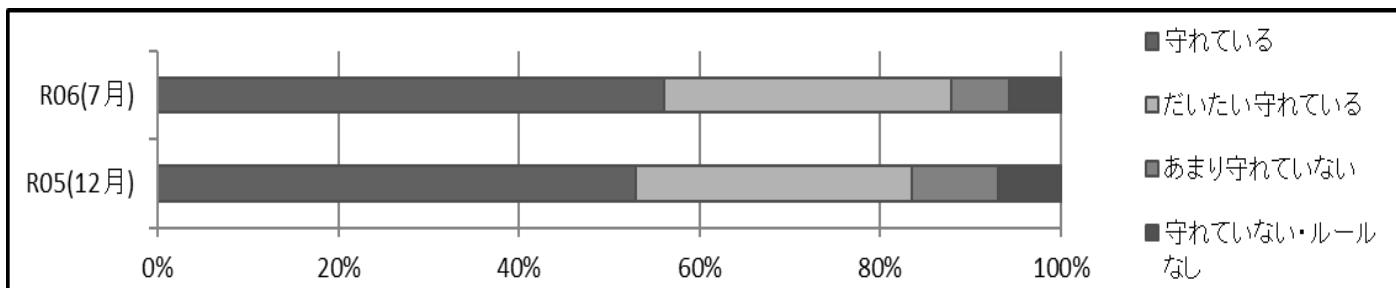
テレビやSNS、ゲームなどに時間を割いており、読書離れが一層進んでいる結果だと言えそうです。学校では毎朝、朝読書の時間を設け、読書をする機会をつづっています。読書はとても大切です。お家でも、お子様と一緒に読書する時間をぜひ作ってみてください。

10. メディアコントロールについて

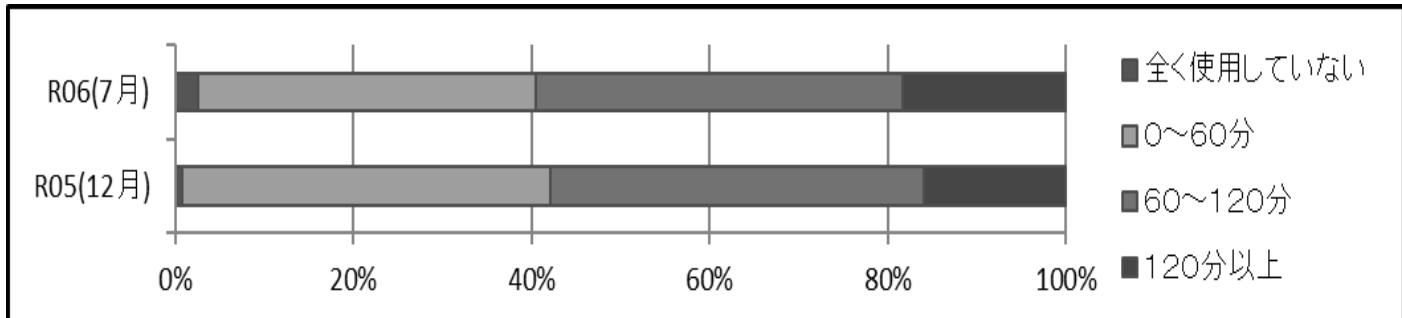
<児童>ゲーム・スマホ・インターネット・SNSなどの時間はどれくらいですか。



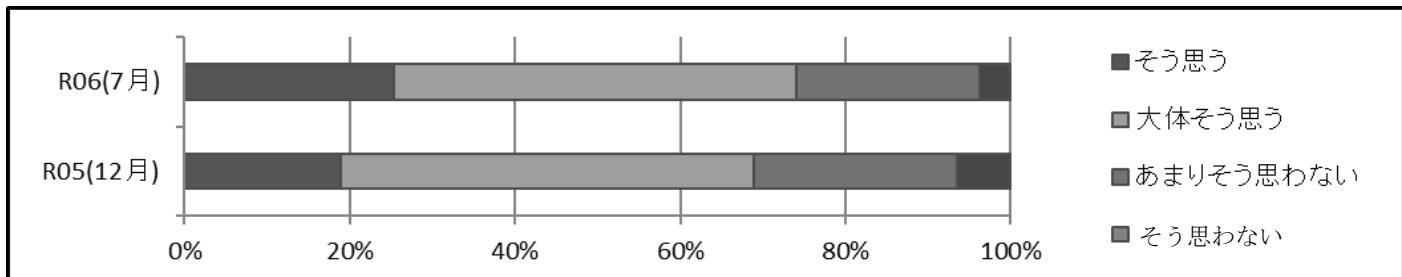
<児童>ゲーム・スマホ・インターネット・SNSなどのルールは守っていますか。



<保護者>お子様のゲーム・スマホ・インターネット・SNSなどの時間はどれくらいですか。



<保護者>ゲーム・スマホ・インターネット・SNSなどのルールを決め、守らせている。

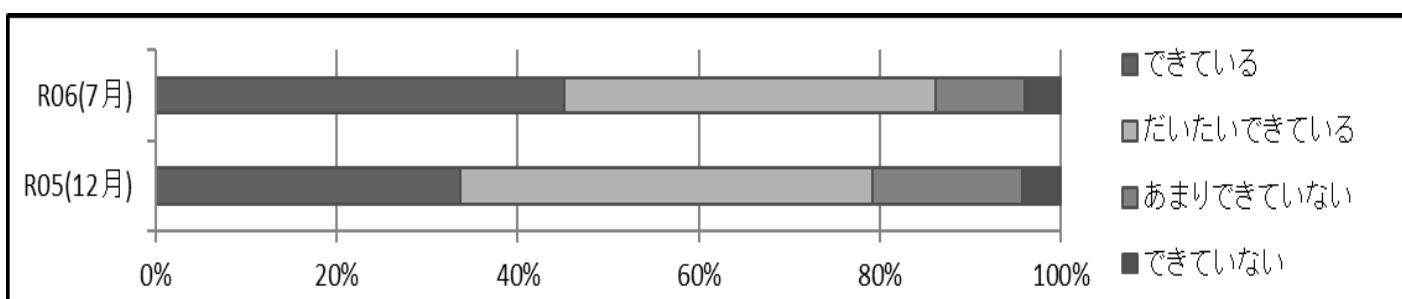


児童アンケートの「ゲーム・スマホ・インターネット・SNSなどのルールを守っていますか」という質問では、「守られている」「だいたい守れている」が合わせて88%でした。保護者アンケートの「ルールを決め、守らせている」では、「そう思う」「大体そう思う」が合わせて74%でした。児童が思っているよりも、保護者の方の感覚では、ルールを守ることが難しいと感じておられる結果となりました。

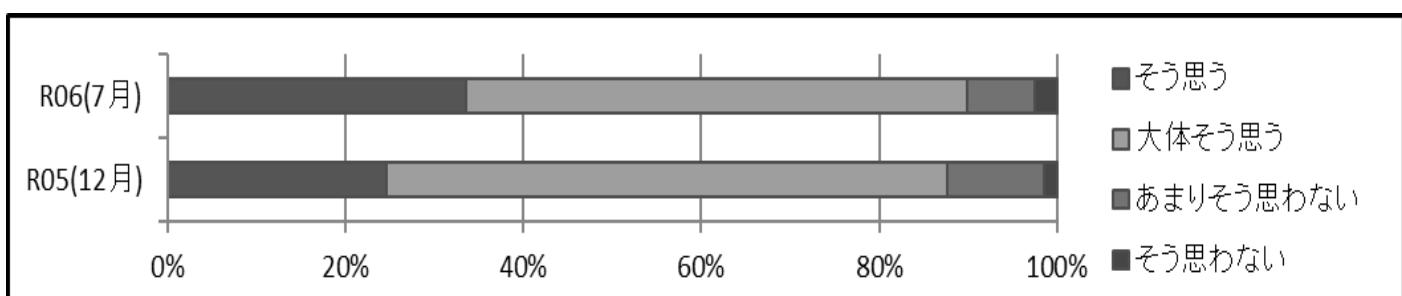
今年度もメディアコントロールデーを設け、保護者の方にもご協力いただきながら、メディアとの上手な付き合い方を考える取組を行っています。また、情報モラル教室など、外部の機関とも連携しながら、学年に応じた学習も進めています。様々なメディア機器は、子どもたちの生活の中に大きく入り込んでいます。ご家庭でもゲームやスマホ、テレビ、インターネットやSNSなど、メディアに関するルールを話し合っていただき、ご家族で一緒になってより良い使い方・付き合いができるよう相談してみてください。

II. 生活習慣について

<児童>早寝・早起き・朝ごはん等、規則正しい生活をしていますか。



<保護者>早寝・早起き・朝ごはん等、規則正しい生活習慣が身についている。



児童アンケートでは、「できている」「だいたいできている」が合わせて86%、「あまりできていない」「できていない」が合わせて14%でした。保護者アンケートでは、「そう思う」「大体そう思う」が90%、「あまりそう思わない」「そう思わない」が合わせて10%でした。

多くの児童、保護者の方が規則正しい生活を送っていると感じている結果となりました。規則正しい生活を送ることで、睡眠時間も確保され、学校での学習効率も上がることが期待できます。また、学校では長期休業前と休業明けに、生活リズムを見直す「生活調べ」を実施しておりますが、結果等については保健だよりなどでお知らせしますので、またご覧ください。